

5月臨時議会で新体制に 図書館問題で特別委員会を設置

市議会5月臨時会が13、14日に開かれました。
西部中学校や門弟山小学校北舎の改造工事の請負契約承認、公平委員、副市長の選任議案が提案されました。

副市長の再任に反対

副市長の再任について日本共産党議員団は「堀市長のこの間の特に、新ごみ処理施設にかかわる対応は、スジが通らず市民が主役の市政とは相いれない暴走が数々あり、副市長として適切な対応をとる責任があったにもかかわらずこれを果たさなかったことは問題」として、反対しました。

また役員選挙を行い、議長に木本恵造議員、副議長に稲山明敏議員を選出。議会選出の監査委員を中西保夫議員とすることに同意しました。

日本共産党議員団の新しい委員会等の所属は右のとおりとなりました。

日本共産党市議団の委員会等の所属

森ケイ子議員

厚生文教常任委員会、議会広報編集特別委員会
江南丹羽環境管理組合議会、都市計画審議会
議員政治倫理審査会

東よしき議員

総務常任委員会、議会運営委員会
議会改革特別委員会（副委員長）

かけのまち子議員

建設産業常任委員会、愛北広域事務組合議会
図書館問題特別委員会（副委員長）、行政改革推進委員会



独自の議会広報紙の発行を

江南市議会の様子を市民にお知らせする「議会だより」を編集する議会広報編集委員会が、「特別委員会」に昇格しました。議会基本条例が今年4月施行されたことに合わせ、ようやく正式な委員会に位置づけられます。

年4回ある定例議会後に、一般質問・答弁の要旨や主な議案の委員会質疑を、各議員が原稿を作成し8ページ分に編集。市の「広報こうなん」の中に「間借り」してお知らせしてきました。

しかし県内ほとんどの市町議会は「間借り」ではなく、議会が責任をもち単独紙で発行しています（発行責任者は議長）。広報編集委員会が議会事務局の協力で調査した結果、県内38市の議会のうち、独自発行していないのは江南市を含めて4議会だけ。江南市議会は遅れを取っています。

市広報の「間借り」では、記載内容やページ数に制約があり、そもそも市長が発行責任者の「広報こうなん」に議会活動を掲載してよいのか、是非が問われます。

議会が二代表制の一翼を担い、市政のチエック機関の役割を果たし、市民の意思を反映した市政を実現していくためにも、独自の議会だよりの発行が急がれます。

市民と議会の意見交換会を開催

市民との意見交換会を今年度から常任委員会ごとに年2回以上開催することになりました。1回目の日時・場所は7月27日（日）の午前、市民文化会館。詳細は今後、議会内で検討されます。

改革が進む岩倉や犬山市議会では、数年前から開催しています。多数の市民の参加で、活発で有意義な意見交換会になることが期待されます。さらに議会改革が進展していくよう、日本共産党議員団としても様々な提案をしていきます。

図書館について市民の願いを集めよう

新たに図書館問題で、市議会に「特別委員会」が設置されました。議員7人で構成し、現図書館と新図書館建設の方向性を協議・検討していくことになりました。

4月に党議員団が開催した市政報告会でも、「司書さんは親切だが、大人がゆっくり本を広げてくつろぐスペースがない、新刊書が十分に入らない、学習室がない」など不満の声があがり、一刻も早く新築して欲しいとの要望が寄せられました。

一方、全国では、公立図書館を江南のように民間委託（指定管理者）したり、民間資金を活用した建設・管理運営（PFI）で整備したりと、図書館が民間企業の儲けの場になりかねない事態が次々に起きています。

市立図書館は生涯学習の拠点としての重要な役割があります。今年度は第2次子ども読書活動推進計画を策定する年でもあります。子どもたちや市民の読書環境を整備し、文化の香り高い江南をつくっていくために、市民のみなさんの想いや願いを集める活動が求められています。

だまっていたら10% 消費税増税路線に NO!

消費税増税、年金削減で暮らしが圧迫されるなか、安倍政権は医療・介護の一体改悪、生活保護の削減を強行しようとしています。さらに来年10月から消費税10%を狙っています。

消費税増税路線NO!の新しい署名運動を展開中です。どんどん広げて、増税をゆるさない世論を作りましょう。



解釈改憲ゆるせない！原発再稼働ダメ！派遣法改悪やめよ！